

カキクダアザミウマ

学名 : *Ponticulothrips diospyrosi*



葉の症状



果実の症状



巻葉内の幼虫



成虫

発生と生態

加害部位 : 葉、果実

発育の経過 : 卵→幼虫→蛹→成虫

越冬形態 : 成虫

発生回数 : 年1回

防除適期 : 越冬成虫が飛来し、展開葉が巻き始める4月下旬と新成虫が分散する6月中旬。

防除対策 : スギなどの樹皮で越冬するので、山林隣接園では発生に注意する。
シルバーマルチの敷設で忌避効果がある。